昭和25年（1950） 12月26日（火曜日） 第183号 平城毎日新聞 定價1ケ月50円 一部賣二円 第三種郵便物可認（一）

社長 大和田與兵衛
發行所 平市南新町 毎日新聞社
株式會社 福島縣磐城
編集兼印刷人 遠藤孝倫
發行人
電話（平）一二一〇番

未亡人の再起更生え

近く街頭募金を行う

縣、縣社會福祉協會、同未亡人連合會及び各町村長會街頭募金により各家庭の協力を求め募金した者には母子援護運動募金運動力を求め募金した者には母子援護を象徴する母子の造花が贈くられることになつている

なお同資金は未亡人會の結成運營資金、及び短期貸付資金などに當てることになつている

縣下に子供を持つ未亡人約三万七千人が現在困苦のドン底にありこれら母子世帯に再起のチャンスを與えようとするもので募金の目標は三百六十万円とし方法は戸別割當てはは母子援護運動募金運動力を求め募金した者には母子援護を象徴する母子の造花が贈くられることになつている

平市割當は十万圓

母子援護方法など決定

明年元日から行われる母子援護貨金募集運動に十万四千七百二十四圓の割當を受けた平市では二十四日午後一時から市會議室に民生委員會を開き其の募金對策を協議未亡人、其の他の協力による街頭募金が二万円其の殘り八万円、は戸別割當てによつて協力を願うことに決定した、なお同募金は子供を持つ未亡人の更生に當てられるものでまためぐまれぬ不幸な人達に對する市民の積極的な協力を要望している

△手帳切り換は現場でやつてはしい

△最底賃銀二百五十円男女共△お正月の有給休か△こまわり制の實施などを要求したがいずれも善處に努力はしているが現在のところ出來ないと斷つた

有級休暇要求

赤井村北部自由勞組代表大樂政雄組合長ら三名は二十日兩組合に對して次の割合場に急行調査中

越冬資金決定

縣職組では越冬資金として二ケ月分同敎組では一ケ月分と研究費二千五百円の支給をそれぞれ要求して縣と交渉中だつたが縣では廿五日早速係員を現

行すると共に第三期市民税並に個定資産税市の第二期分納入になつている、個定資産税の第一期分徴納狀況は廿五日現在で六百十万一千三百卅円の賦課額に對し五百十三万七千圓の微納で八十四%となつている

旬には第二期の督促狀を發

冷たい社會の

肌刺す霜に霑れて

さまよう老女救わる

師走の寒空に住む家もなく、とる食もなく薄い毛布一枚を小さな風呂敷包みを片手に夜は驛の待合室の片隅に、晝は路頭にさ迷う年老えた一未亡人に寄せられた暖かい人情話

話題の主は市内大町助産婦草野ナツ（五七）ざんと戰爭前平市六丁目に住んでいた須藤ウメ吾さんで草野さんは廿五日市内を毛布一枚と風呂敷包一つを持つて折から空つ風にふるいながら歩彷つているウメさんを發見此處數日來飯も食わず寢るところもなく市内をさ迷つていたと言うことを聞き何も言わず自宅に連れ込み食を與い後市社會課に同伴身の振り方につき市の協力を求めたもので課員が事情を聞えた上其の身の上に同情その善處にほんそうしている

佐藤さんは戰前市内六丁目で働いていたが身寄りが死亡した爲台灣にいに弟の世話になつていたが戰後引き揚げて小名濱でマーケットをやつているうち五年ほど前死亡今までの家に居られなくなり栃木縣下で家事手傳や留守番などして働いていたが今年九月頃再び平がなつかしく流れて來た然し落目な彼の女に對する社會は余りにも冷たいものだつた誰一人として相手にしてくれず、好間小川方部で農家の飯たきなどしてくらしているうち一ケ月ほどまいから結局そこにもお正月近でいた須藤ウメ吾さんで草野さんは追い出されてしまい今更行くところとてなく夜は驛の待合室や人の家の軒下で老廿五日市内を毛布一枚と風呂敷包一つを持つて折から空つ風にふるいながら歩彷いの肌刺す霜にぬれる一夜をすごし晝は路ぼうを迷つていたところをぐうぜん舊知の大町草野ナツさんに見出されたのだつた

年内完納期し

市納税督勵に躍起

平市の第一期、第二期市民税の收納狀況はすでに納期第三小を主軸とした東部青年連合會の誕生をみてそれぞれ會の發展と社會事業に寄與する事となつて來たが四、五丁目、白銀町、大工町の四青年會でもこのほど平市中央連合青年會を結成し商工業研究會、懇談會並を訪問し廿四年度分滯納と合せて納税督勵に乘り出し年内完納を圖つている、廿五日現在の市税納入狀況は第一期分一千一百九十二万に各商店會事業後援生徒兒童の校外指導、修養厚生など行事の開催を目的として強固な運動を展開する事となり廿四日午後七時からマルトモホールに第一回役員會を開き同會の今後推進方事務所へ指令した、六ケの者は月以上勤續の者に百分五の未滿は百分の十五で年内に支給する様石城地十、三ケ月から六ケ月の間百分の卅、三ケ月

強力な親和と發展に

平市中央連合青年會結成

平市の各町内青年會はさきにその運動の強化と團結、親和を主眼として第一校を中心とする西部青年連合會の少、青年、壯年別の町内對抗耐寒マラソン競爭を行い終つて全會員の總會開催することを打合せたなお同青年會の役員は次の通り

會長草野四郎平（四丁目）
副會長大谷英夫（五丁目）

武田都弘（白銀町）會計入江義昌（五）岩本明茂（白）文化部山田高伯（四）有坂久彌（大工町）体育部津野文男（大）庶務柴田實（四）武子嘉助（五）宮崎通雄白永島高伯（大）幹事吉田直吉（四）瀧口勝久（五）鹽田壽男（白）渡邊進（大）

内郷町會で可決

勞務者の二百円支給

歲末手當

自由勞組の越冬資金要求をめぐり注視されていた内郷會は二十五日午前十時から開かれたが自由勞務者の現在の生活を考慮約一千名の自勞組員に對し民生助成會費の中から一人二百円の支給を万場一致で可決したこれはこの地方最初のことでもありその他町村への波

息詰る熱戰展開

卓球大會盛會裡に終る

磐城スポーツ連盟主催の第二回磐城地區官公署卓球大會並に新人卓球大會は廿四日午前九時から平市公會堂に官公署十八チーム個人戰六十五名と一般新人戰百卅二名（男百四名、女廿八名）が出場豫想を裏切る番狂はせの熱戰裡に息詰まる爭奪戰を展開午後四時半終幕した、大會の結果は次の通り

△官公署對抗戰＝一位東北配電A（佐川—廣邊）、賀澤—（高橋）二位電氣通信管理所B（柴田—遠藤、淺井—久野、三位市役所B（箱崎—管本、金井—下妻）

△官公署個人戰＝一位配電賀澤一泰、二位配電廣邊一之、三位鐵道岡田正裕

△新人戰（男子の部）＝一位小名濱水素佐藤昭、典二位配電廣邊一之、三位磐高吉田正（女子の部）＝一位磐女柴田秀子、二位敎委石城出張所原下惠美千、三位磐女大井川美保子

現場監督を撲る

災害復舊工事設計出來る

平土地改良事務所では廿五年度災害（四、五兩月）の復舊工事設計書が廿五日完了し近く各市町村に交付してはしい

サンタそつくりで

千葉社會課長園兒にもてる

市内鎌田保育所では二十五大豆及び小豆四俵半を商京日午前十時から千葉市社會袋に分散して運搬中同乘の課長の紛裝するサンタクロースのおじさんを迎え園兒及保護者など約百三十名が參集お菓子おもちやなどの贈りものから子供達のXマスの遊戯などで盛會だつた

カツギ屋學る

函館市鶴岡町三九無職佐藤勇駒（三三）は廿四日平發午前七時四七分上り急行東内で

砲金ぬすまる

平市五丁目一五東京礦機株式會社（代表藤浪時康氏）方では廿四日午後方では廿四日午前八時までの間に同社事務所からほう金製品約十三貫時價一万五千圓相當を盜まれた

依頼された金を費消

平市才槌小路二〇無職綱川カツヨ（三四）は本年八月廿七日知合の市内比佐トシさんから七千三百十九円小切手を拂下げるやう依頼された右金額を自分の生活に消費して廿四日平市署に逮捕された

ラグビー選手權大會

二日平工商グランドに

縣ラクビー協會、縣高校体三時十五分常）磐炭鑛對東育連盟主催の縣ラグビー選北配電（十三時廿五分—十手權大會は一月二日午前十四時廿分）選拔學生對選拔一時から平工高グランド開CB軍（十四時卅分—十五く、組合せ及び試合開始は時廿五分）

磐高OB對平工OB（十時なお學生東西對抗戰の東軍一十分—十二時五分）學生は濱通りおよび會津の西地東西對抗（十一時廿分—十區

土木建築請負業
堀江工業株式會社
社長 長谷川常吉
平市搔槌小路
電話五一九番
五三五番

丸進
し出賣大付品景引福末年
丸進が皆様に贈る
メチヤメチヤの大賣出し
高級オーバー 背廣三ツ組
ジャムバー 洋服生地
特別サービス品
大人ズボン 280圓
平市銀座通り 丸進 電（呼）44

牛豚肉
自慢
本場
第一 綠屋 電539
第二 綠屋 電794
迅速 配達

印刷物の御註文は
迅速確實の當店へ
大和田印刷所
平市仲町廿三番地
電話七二九番

喫茶
軽食
出前迅速
平市田町 電二四〇

1月15日はお米の登録日です

過去十年間皆様の台所と親しみのつながりをもつて居る私等現公團委託配給所に是非〳〵御投票下さる様御願ひ致します

材木町 長瀨米店 電話七六六番
大町 大町米店 電呼八〇三番
立町 郡司米店 電話七四五番
仲間町 奈良米店 電呼九二六番
杉平 須藤米店 電呼五〇七番
胡摩澤 伊藤米店 電呼一〇〇五番
古鍛冶 久保木米店 電呼一〇三六番
久保町 小田部米店 電話二八一番
南町 坂本米店 電呼七番
同 岡田米店 電話一六三番
白銀町 志賀米店 電話三九八番
月見町 山崎米店 電呼一一八九番
五丁目 酒井米店 電話一〇二七番
鎌田町 根本米店 電呼一一四九番
同 井筒屋米店 電呼一一四九番
七丁目 渡部米店
柳町 松屋米店
北目町 加藤米店 電呼一〇〇五番
神谷鎌田 片寄米店 電話八六七番
飯野谷川瀨 永山米店

ゆがめられた策謀をいぐる

市民の疑惑解消に

水道問題　その他眞相近く發表

市民が重税に惱んでいる今日、更らに金二千万円という巨額の大經費を投じ云々とさきに野崎滿藏氏ら十一名の名を連ねて市民各位に告ぐと題し鎌田山水道計畫の徹回を要求し鈴木市長の悪政暴露と誇張して市民を惑はし事更に議會政治に反對する擧に出た爲市民はその税負擔におそれを抱いている現狀にあるので市では近くそれ等の眞相をパンフレットして各戸に配布し反對派の宣傳に惑う市民に對して競輪場及び水道施設が如何に市の發展と市民の生活上に必要なものであるかを知らしめ、又それらの施設工事は各々二千万円の工費が必要であるが市の會計外に國庫の特別會計から借入れて作るものでその支拂も長い年月の間にその收入や水道を使用料金から少しづつ支拂つて行けるので市民税に賦課する事はなく一切の負擔をかけるものではない事を言明する事になった、なほ市借入金にしても現在一千五百万円と過般發表した事にも反對派は市では借金をこばんでいると市長を攻擊したがこれらはかえつて市當局の政治力の偉大さを物語るだけだ例えば鈴木市長が在職以來第一小校と講堂、市警察署、市役所、第二中、第三中、それから目下建設中の競輪場その他など大工事をほどこしており乍らこれだけの借財しかないという所にその手腕を認める事が出來るはず道問題も一部の者のためにだし市長が行た幾多の行爲せんがための謀略宣傳から認識を新たに出來ることにパンフレットによって市民ならうの疑惑は解消され鎌田山水

果して犯人は何者？

盗れた三万円本人に戻る

何者かに盗まれた大金三万円が三月經つて本人に舞戻つてきたと云う謎のような事實がある、市内大字鎌田字小山下一〇食糧公團主事松崎幸太郎さんは去る九月八日午後八時頃自宅の座敷に置た現金三万五千円と書類在中の手提鞄が何者かに窃取された事件については直ちに警察署へ届出て探査の手を煩してゐたが犯人は遂に檢擧されず斷念してゐたところ去る十九日湯本局出しの手紙が届いた、開封して見ると書いたものは何もなく、千圓札で三十枚が入つて來たので二度吃驚をしてゐる、歳の瀬の金、それは誰しもが金の亡者になる時に然も三月前の金を返するとは余りにも不可解なそうしてゐるそれは誰かおまつて參りませうなお今明日とも空氣がかんそうしておりますから火の元に御注意下さい

窃盗犯人家人の氣轉で逮捕

勿來町酒井無職鹿又善則(三五)は去る十八日午後三時ころ同字農折戸安吉さん方から衣類二點五千八百円相當を盗んだ疑で二十二日勿來町署に捕つた、鹿又が風呂敷包にして持ち出さうとしているのを同家の四女まさ子(二六)さんが發見追かけて連絡したもの

列車スリ

湯本町日渡奥井三郎(四三)さんは廿四日平着午前九時十七分着下り列車(湯本―平間)で一万八千円をすられた

×

泉付大字下川字神山前七八馬上恒太郎(五一)さんは廿三日午前十一時頃平驛構内から三丁目露店通りの間で手提袋内から現金三万八千二百円をすられた

傷害男に罰金

二十三日地裁平支部では江名町上神白字追分農吉田和助(四〇)に對し傷害罪で罰金二千圓の判決を申し渡した吉田は去る八月廿日午後同町忠音寺座敷において同町字西大澤吉田增吉さんと口論、激昂して平手で同人毆打、足けりにするなどを全治七週間の右腕打撲傷を負はせたもの

厭世自殺

廿三日午後四時三十分頃夏井村大字山崎字惡戸六八日雇業渡邊芳治郎(六三)は市内鎌田トンネル内で下り列車に飛び込み自殺した、原因は世を厭うたもの

大日本勿來鑛　ガス爆發

死傷者十一名を出す

廿四年午前十一時半ころ勿來町大字窪田大日本勿來炭鑛本坑第一區雷却連坑内抗口から約八百米附近でガスが爆發し、死亡一名重傷十名を出した、死亡支柱夫柳原源征(四二)重傷支柱夫石井留吉(五〇)採炭夫藤田甲(三〇)電工小林喜好(三三)電工松本福男(三四)電工奥井一雄(三三)輕傷採炭夫岩橋朝美、採炭夫佐々木盛本(三四)、電工佐藤行した

會社の回答如何で

全從業員ストを決議

同勞組では越年資金一人二千圓支給を要求會社側と交渉重ねて來たが折り合わずまで會社側が誠意を示さない場合は一齊にストに突入すると強硬態度に出ているなお同炭鑛東京本社長菊地泰次郎氏は二十五日來平したが山元には行かず組合代表二、三名と平市紺屋町の小田鑛業事務所で交渉更に組合側では鎌田(小田)箭内(平鑛)の兩組合長ら幹部六名が正午から交渉に入ることになっている

勞組幹部座り込む

小田鑛年末手當要求で

好間村小田炭鑛勞組(平鑛)磐木司郎(三一)の三名は二十小田鑛合同、組合員八百六日午前十一時半ころ平市紺屋町小田炭鑛事務所前でハンストに突入した

教組委員會

教組石城支部では來る六日午前十時より同組合事務所で第十一回執行委員會を開く、協議事項は左の通り

一、研究費獲得歳末運動の經過報告

二、給與推定表改訂について

三、冬期休か支部方部懇談會開催について

小形君常磐一着

平四ツ倉間マラソン大會終る

磐城スポーツ連盟、高体連石城支部、郡連合青年會共催の第三回四ツ倉平間マラソン大會は一般、高校生十四チーム四十二名が參加し四分五十二秒を破る四十二分十九秒のめざましい新記録で常磐炭鑛小形清美同じく工藤知義の兩君が平市三丁目大黒屋前決勝點に次々とゴールインした、この大會では五つの新記録が樹立された

△一般＝一位常磐A、二位常磐B、三位常磐C

△高校＝一位常磐A、二位平工A、三位平工B

△個人＝小形清美(常磐A)42分19秒、工藤知義(同)42分19秒、大場丑雄(同)43分26秒8、瀧澄(平工高)44分32秒5、平田良之(磐高)44分51秒以上新記録

七五三は親の見榮

生活改善の急を知る

戰後の復興はめざましいものがあると報じられている生産部面では戰前を上廻つているものもあるそうだが今度の七五三の張り込みかたを見るとまさに戰前に立ち直つた感を深くしていた

×

一人の七五三祝にどの位各家庭では費用をかけるのかを聞いて見ると、上には際限がなく何万円でもかけ次第なそうだ、では最底どの位かと或るサラリーマンに聞く四五人の友人を呼んで祝の眞似をすると二万円はかかると云つてゐる

×

内輪に計算すると子供の衣類に安ものを一揃が一万四五千円は吹飛んで終うのだそうだそれに料理や酒の仕度までですれば二万円は嫌應なしにかゝるので泣かされると打開けてゐた

七五三祝に二万円を投ずることは今日の吾々生活の上では祝事ではあらうがどうも感心出ない虚榮の催しでもあるまいか

×

一生に一度の子供の出世の祝事でもあらうが二万円も投じてまで、子供を着飾つて見たところでそれは親の見榮であり第三者からすればまさに馬鹿げた行いである、身に余る戰後派の成金は別として限られた收入によつて眞自目な生活を營むものが、子供を着飾つて

一生に一度の子供の出世の祝事でもあらうが二万円も投じてまで、子供を着飾つて見たところでそれは親の見榮であり第三者からすればまさに馬鹿げた行いである、身に余る戰後派の成金は別として限られた收入によつて眞自目な生活を營むものが、子供を着飾つて改善の金詰り打開策などと考えても無意義なように思はれてならなかつた生活の友人を呼んで祝の眞似をすると云つてゐる

×

古くから傳はつている遺風や祝事を破壞すべきであるとは云はぬ何とかもつと節約して心からなる祝祭事に吾々の生活も改善すべきであり、親の見榮に終らぬよう考え直して見ることも必要ではあるまいか

×

26日より28日まで
錢形平次捕物控
平次八百八町
年末謝恩 30圓均一!! 平文化

忘年會 新年會 は平市外鎌田の山樂莊の眺めのよい靜かな御座敷で！
旅館 山樂荘 電二九四番
同 別館

忘年會 新年會 は 皆様の御都合にて 如何様にも御相談に應じます
平本局前 電五二八
輕飲食とお酒の店

忘年會 新年會 は溫かい靜かな倉座敷で!!
お酒持込歡迎御相談に應じます
早朝より入浴が出來ます
紺屋町 (舊白井邸跡)
西鳳 電三五〇

外は磐城の空風が吹いて居ても室内はやわらかい南風
あつい鍋燒ウドン 特製支那そば
大衆食堂 さかえ
◇出前迅速◇ 電話九八八番 電話御利用下さい
平驛前東角

福引付 12月20日より31日まで
歳末大売出
當籤賞品券でまたまた當る壽の大景品
特等 壹万圓(商品券)
以下各等商品券進呈致します!!
平驛前 壽百貨店 電656

サンキュー・三久・三休さん
佐々木商店
平市鍛冶町 電(呼)五〇三番

樂しいクリスマスに
心をこめた贈物
ネクタイの店
エンドー
平2 電1028

大衆食堂
支那そば ワンタン 鍋燒ウドン
出前迅速 電四六五番
みかさ
靜かな敷寄屋風御座敷で一杯いかが……!!
平紺屋町 平文化 隣